

2024年7月28日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第18号(通算3400号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切に<sup>たいせつ</sup>する<sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に<sup>たいせつ</sup>する神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ  
**聖霊降臨節**

だい しゅじつれいはい  
**第11主日礼拝**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 箴言 9章 1-5節

賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

お祈り

賛美歌 21-81番「主の食卓を囲み」(©JASRAC)

聖書 コリントの信徒への手紙I 11章 17-29節

メッセージ 「私を思い出してください」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-553番「キリストがわけられた」(©JASRAC)

主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

誕生者祝福式 牛田 匡 牧師

献げ物(\*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 箴言 9章 1-5節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 知恵は自らの家を建て／七本の柱を刻んだ。
- 2 いけにえを屠り、ぶどう酒を調合し／さらに食卓を整え
- 3 若い娘たちを町の高き所に遣わして／呼びかけさせた。
- 4 「思慮なき者は誰でもこちらに来なさい」  
浅はかな者にはこう言った。
- 5 「来て私のパンを食べ／私が調合したぶどう酒を飲むがよい」

聖書 コリントの信徒への手紙 I 11章 17-29節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

17 しかし、次のことを指示するにあたって、私はあなたがたを褒めるわけにはいきません。あなたがたの集まりが、良い結果ではなく、悪い結果を招いているからです。18 第一に、あなたがたが教会に集まるとき、互いの間に分裂があると聞いており、私もある程度はそれを信じています。19 あなたがたの間で、誰が適格者かはつきりするためには、分派争いも必要でしょう。20 しかし、それでは、一緒に集まっても、主の晩餐を食べることになりません。21 食事のとき、各自が勝手に自分の食事を済ませ、空腹な者もいれば、酔っている者もいるという始末だからです。22 あなたがたには、食べたり飲んだりする家がないのですか。それとも、神の教会を軽んじ、<sup>a</sup> 食事を持参しない人々を侮辱するのですか。あなたがたに何と言ったらよいでしょう。あなたがたを褒めるべきでしょうか。この点については、褒めるわけにはいきません。 (脚注 a: 直訳「持たない人々」、別訳「貧しい人々」)

23 私があなたがたに伝えたことは、私自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、24 感謝の祈りを献げてそれを裂き、言われました。「これは、あなたがたのための私の体である。私の記念としてこのように行いなさい」。25 食事の後、杯も同じようにして言われました。「この杯は、私の血による新しい契約である。飲む度に、私の記念としてこれを行いなさい。」26 だから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲む度に、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。27 従って、ふさわしくないしかたで、主のパンを食べ、主の杯を飲む者は、主の体と血に対して罪を犯すことになります。28 人は自分を吟味したうえで、そのパンを食べ、その杯から飲むべきです。29 主の体をわきまえないで食べて飲む者は、自分に対する裁きを食べて飲むことになるのです。

## 《先週のメッセージより》7月21日

「全ては平和のために」より

牛田匡牧師

聖書 ローマの信徒への手紙 14章 13-23節

先週は「部落解放祈りの日礼拝」でした。日々の生活の中には、まだまだ様々な差別が根深く残っています。それぞれの差別の起源、始まりの理由はハッキリとは分からない代わりに、ハッキリしているのは「差別があった」という事実です。それこそ、初めは相手に対する「尊敬」や「畏怖」だった感情が、いつしか「恐怖」に変わってしまい、自分の身を守るために相手を差別して排斥・排除したり、抑圧したりするようになったということもあるかもしれません。

今回の聖書の話の背景にあったのは、「何は食べても良いが、何は食べてはならない」というユダヤ教の食物に関する律法でした。恐らくそれらの食物規定は寄生虫や食中毒など、先人たちの経験に基づいて「危険な食べ物」と見なされていたのだと思います。にもかかわらず、それらの食物規定が命を守るといふ本来の目的を外れ、結果的に規定を守れる人と守れない人とを区別し、差別されるために用いられてしまっていました。そのような時代に「外から人に入って、人を汚(けが)すことのできるものは何もなく、人から出て来るものが人を汚すのである」(マルコ7:15)と言われたイエス様は、様々な事情から律法を守ること出来ず「罪人」と見なされていた人々から大歓迎されました。しかし、その一方で人々の習慣や考え方というものは、そう簡単には変わるものでもなく、イエス様に従って行くと言った人たちの中にも、やはり食べ物について良し悪しを言う人たちが何人もいて互いに対立していました。

そのためにパウロは「もう互いに裁き合うのはやめましょう」(13)というこの手紙を書き送りました。「食べ物のために、きょうだいが心を痛めているなら、あなたはもはや愛に従って歩んではいけません。食べ物の中で、きょうだいを滅ぼしてはなりません」(15)。何故なら「神の国」は、「何を飲んだり食べたりして、良いか悪いか」という食物規定によって区切られた安全圏の中にあるのではなく、聖霊と共にあって実現する正義と平和と喜びのある所にこそ、あるものだからです(17)。そしてパウロは、「だから、平和に役立つことや、互いを築き上げるのに役立つことを追い求めようではありませんか」(19)と言います。全てのルールや規定など、全ては平和のために、命のために、という原点に立ち返って考え直す必要がある、ということでしょう。お互いの命を大切にし合い、正義と平和と喜びの神の国を作るために、私たちはここから用いられて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 7月21日

礼拝出席 大人4名 子ども3人 献金 大人7,000円 中継視聴者数7回 感謝  
 礼拝後に釜ヶ崎支援のために、皆で178個のおにぎりを作って、いこい食堂にお届けしました。食堂の前の四角公園が改修工事中で閉鎖されていたので、食堂にてお配りしました。  
 どうもありがとうございました。



◎次週 2024年8月4日(日) 平和聖日礼拝  
 (聖霊降臨節第12主日礼拝)

招きの詞 詩編 146編 7-9節  
 聖書 ヨハネの手紙I 4章16節-5章5節  
 メッセージ 「平和に生きる」牛田匡牧師  
 賛美歌 21-425番 (©JASRAC)、  
 21-371番 (©出版局)、21-418番 (©教団)  
 8月期の「教会を考える会」はお休みです。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・8月1日(木)~25日(日)にかけて、高石教会にて、平和月間特別写真展「川の記憶 ~ヒロシマ 今も忘れない~」が開催されます。入場料は無料で、どなたでもご鑑賞いただけます。開館日時は木・金・土曜日の9時から17時までで、8月16・17日は閉館です。

また8月25日(日)には13時から14時半にかけて、写真家の高塚陽一さんによる特別講演会「『川の記憶』を語り合う」が開催されます。  
 どなたでもご参加ください。  
 高石教会のウェブサイトは右のQRコードより。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/4	牛田匡牧師	(平和聖日)ユーカリスト
8/11	水谷憲牧師	
8/18	牛田匡牧師	おにぎり支援
8/25	水谷憲牧師	誕生者祝福式

高石教会主催 平和月間特別写真展

# 川の記憶

~ヒロシマ 今も忘れない~

会期: 8月1日(木)~25日(日)  
 (1)開館日時: 木・金・土 午前9時~午後5時  
 (2)閉館日: 16日(金)・17日(土)

会場: 日本基督教団 高石教会  
 高石市高師浜1-4-3

平和主日集会特別講演  
 日時: 8月25日(日)午後1時~午後2時30分  
 講演: 「川の記憶」を語りあう  
 講師: 高塚陽一(写真家)

入場料 無料

お問い合わせ 高石教会 / Web: <https://takaishichurch1893.wixsite.com/website>  
 Tel: 072-261-0053 / E-mail: [takaishichurch1893@gmail.com](mailto:takaishichurch1893@gmail.com)

—あの日、多くの人々が川に入った。  
 それはその場所から逃げるためだけではない。

灼熱地獄から何とか逃れようと、  
 熱する体を冷まそうと、  
 入水したのである。

しかし、  
 そのほとんどがその場で息絶えた。

いつもと変わらぬ流れの中で、  
 人々の日常の中にあつた川は、  
 その人々の遺体で埋め尽くされた。

写真家プロフィール  
 高塚 陽一(たかつか よういち)

- ・1986年 新潟高行写真事務所所属 同年より写真家尾島昭雄氏に師事
- ・1992年~2019年 日本基督教団 牧師
- ※開館祝儀
- ・2005年「光と影の軌跡 60年目のひろしま」(新宿ニコンサロン)
- ・2007年「路上の賢人」(新宿ニコンサロン)
- ・2008年「個人(ニアサイトギャラリー)」
- ・2009年「過ぎ去りゆく時 ひろしま~被爆建造物のいま~」(新宿ニコンサロン)
- ・2013年「川の記憶~ヒロシマ 今も忘れない~」(コニカミノルタプラザ)など
- ※受賞
- ・2007年 酒田市 土門洋文化賞奨励賞受賞